

事業所名

とらキッズ

支援プログラム（参考様式）

作成日

2026年

2月

20日

法人（事業所）理念		運動を通して成功体験を積み重ね、子ども一人ひとりの可能性を広げる。 挑戦する気持ちと自信を育み、地域の中で自分らしく輝ける未来につなげる。					
支援方針		「できた！」を増やし、明日も挑戦したくなる場所をつくる。					
営業時間		10時	0分から	19時	0分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	来所時の体調確認や手洗い・うがい、水分補給等の基本的な生活習慣の定着を図り、活動を通じて自ら体調管理へ意識を向けられるよう支援する。 また、運動前後の準備や休息を経験する中で、生活リズムの安定や安全に過ごす力を育む。					
	運動・感覚	理学療法士および運動指導経験を有する職員の視点を取り入れ、体幹機能、姿勢保持、バランス、身体の使い方の向上を目的とした活動を行う。 サーキットトレーニングやボール運動、公園活動など多様な動きを経験することで、感覚統合を促し、日常生活動作の向上につなげる。					
	認知・行動	運動場において合図や状況の変化に応じて行動する経験を積み重ね、注意の切り替え、判断力、ルール理解の向上を図る。 また、成功体験を段階的に設定することで、見通しを持って取り組む力や最後までやり抜く力を育て、自己肯定感の向上につなげる。					
	言語 コミュニケーション	運動場において合図や状況の変化に応じて行動する経験を積み重ね、注意の切り替え、判断力、ルール理解の向上を図る。 また、成功体験を段階的に設定することで、見通しを持って取り組む力や最後までやり抜く力を育て、自己肯定感の向上につなげる。					
	人間関係 社会性	チームでの活動や役割分担、応援、勝敗の経験を通して、他者と協力する力や感情のコントロールを育む。 また、公園など地域の場を活用し、公共のルールや順番を守ること、相手を思いやる行動につなげていく。					
家族支援		日々の活動の様子や成長の変化を連絡帳や送迎時の報告等を通じて丁寧に共有し、保護者と成長の喜びを分かち合う。 また、家庭での困りごとや関わり方についての相談に応じ、必要に応じて面談の機会を設けながら、子どもにとってより良い支援方法を共に考えていく。		移行支援		学校や関係機関と情報共有を行い、生活面や対人面での課題について連携を図る。 将来の自立や社会参加を見据え、集団活動や地域での経験を通して必要な力が身につくよう段階的な支援を行う。	
地域支援・地域連携		公園等の地域資源を活用し、実際の社会場面の中でルールやマナーを学ぶ機会を設ける。 また、地域の関係機関や他事業所との連携を図り、子どもを地域全体で支える体制づくりに努める。		職員の質の向上		児童福祉、発達支援、虐待防止、感染症対策、防災等に関する研修へ継続的に参加し、専門性の向上に努める。 また、日々の支援内容について職員間で振り返りを行い、より良い支援方法を検討しながら支援の質の向上を図る。将来の自立や社会参加を見据え、集団活動や地域での経験を通して必要な力が身につくよう段階的な支援を行う。	
主な行事等		季節の行事や屋外活動、運動イベントなどを通して、子どもが楽しみながら社会経験を広げられる機会を設ける。 春：お花見、公園遠足 夏：水遊び、ミニ運動会、屋外体験活動 秋：ハロウィンイベント、公園での集団遊び 冬：クリスマス会、初詣、節分行事 また、チーム対抗の運動プログラムや協力型のゲームを取り入れ、仲間と力を合わせて達成する経験や成功体験の積み重ねを大切にする。					